脳に効くホテル・旅館 連載36

TOBEオーベルジュリゾート 里山の夢

茂木健一郎

撮影／サコカワラ　中野晃啓（浜木さん）

私には、一つの夢があった。こんな休暇ができたら、と思い描いていたことがあるのである。

そのホテルは、「里山」の中にある。日本独特の、人の営みと自然の景観が渾然一体となった「里山」。手つかずの自然といわけではない。かといって、人間の手が入り過ぎているというわけでもない。長年にわたって人が入り、自然と付き合うことで、バランスがとれ、細やかな美がに満ちあふれた空間となった里山。

そんな里山の中に、心地の良いホテルがあったら、ゆったりとした時間を過ごしながら、おいしい食事ができたら。食材は景気なものであるに必要はない。地元で採れた、ありきたりのものでいい。例えば、地の野菜や果物、そんな「里山ホテル」がないものか、ずっと思っていた。

TOBEオーベルジュリゾートに滞在することで、私は、「里山の豊饒」の理想に、非近づくことができたような気がする。日本人の昔からの安らぎの文化が、一つの美しい形で結実している。

松山から車を走らせて30分ほど。自然の低部都で知られる砥部町に入る。落ち着いた趣きの街並みが、なだらかな山々に囲まれる。

TOBEオーベルジュリゾートは、道後温泉の畔にあった。農業用水のために作られた、人工の池。水面からは、噴水が出ている。その向こうには、なだらかな山並み、一目にして、心に染み込んでくるものがある。

さっそく池の周りを歩いてみる。里山の豊饒の良さは、「点」ではなく「線」であり、「面」であること。私が長年思い描いていたのは、まさに、このような場所だった。客室棟が並ぶ小高い丘の上に、野菜が作られていた。オーナーの越智仁文さんが、「ここには山菜があるのですよ」と説明してくださる。古から、さまざまな流れが良い場所として、人々に親しまれていたのだろう。総料理長の藤川宗次郎さんが、畑の野菜を摘むしゃうに見ている。

そろそろ夕暮れ、池を見渡す朝子張りのダイニングで、藤内さんが心を込めて調理した食事を頂く。おいしい。本当においしい。さっき見たばかりの畑で採れた野菜が、巧みにソテーされる。その他、松山近郊で採れるさまざまなもの。海の幸、山の幸。春には、タケノコが採れ、池の周りに旅がいっぱいになるという。夜が更ける。眠りは、午後8時で止まった。星が完ぺきりはめられる。

外に出ると、ひんやりと空気が心地良い。「池の向こうのあの山で街の光がさえぎられるので、よく見えるのです」と越智さん。夏には、ホテルの横の畑に、ホタルが飛び交うというのだ。

部屋に戻り、お風呂に入る。気付くと、ベッドの上でまややと眠っていた。目覚めるとすぐに森の気配に包まれる。そうだった、私は今、里山の真ん中にいるのであった。

朝食前に、池の周囲を歩く。車が通らない、本当に気持ちの良い道。池の表情が刻々と変わる。広々とした公園にたどり着く。右手に「ふひめ」ともの城」がある。さらに進んでいくと、さらに二つの池が現れた。「東大池」と「西大池」。やはり農業用水に使われるのだろう。近くには、穏やかな田園が広がっている。

ひょっとしたら、かつてはありふれた光景だったのかもしれない。今ではかけがえのない宝物になったもの。喜びの点が線に、そして面へと広がる。里山の景観が、私を心地よく包み込む。

池の向こうに、オーベルジュが見えてくる。また、あの野菜たちに会うことができる。「里山の夢」が、微笑み、誘う。

1962年東京都生まれ。脳科学者。『クオリア』（感覚のもつ質感）をキーワードに、脳と心の関係を研究。

この土地に惚れ込んだオーナーが、オーベルジュをつくることを決意。結婚済みの総料理長と二人三脚で、7年の準備を経て昨年の開業にこぎつけた。食の完成度の高さとともにモダンな客室も男心をくすぐる。写真は総料理長・藤内さんと

TOBEオーベルジュリゾート
愛媛県伊予郡砥部町宮内622の7
☎089（960）7501
http://www.tobe-resort.com

uomo
5
オトナが読める ファッション&ライフスタイルマガジン ウオモ
2011 MAY
定価780yen
http://uomo.shueisha.co.jp/

●今月のカバー／竹野内 豊

本誌別注
ゼロハリトローリーケース完成!

モードな誘惑
ジャケットが魅せる様々な仕草
ジョルジオ アルマーニ／ルイ・ヴィトン／グッチ／ポール・スミス コレクション／ジー ゼニア／ドルチェ&ガッバーナ

fun! fun!! GOLFスペシャル
今、ゴルフもEPが気分!

体型もライフスタイルも
スタイリッシュなランナーになる

春のEP6カ条
ユーロプレッピー

- スナップで検証「EPとはどんなスタイルか?」
- 薄くて軽いが当たり前!「厳選 くったりジャケット」
- デニム、白オックス、プリント、チェック 4大EP的シャツ
- ボトムスはまず「スリムテーパードのホワイトパンツ」
- 大人テイストを巧みにMIX「EP的ミリタリーのこなし方」
- 上品アイテムをEP的に使いこなす「上級着こなしワザ見本帳」